

日本鋼構造協会 鋼構造論文集 論文募集案内

鋼構造論文集は年4回刊行しております。委員会は《迅速な掲載》を編集方針の一つとしており、審査の結果によっては投稿日から3～4ヶ月程度で論文集に掲載されます。委員会においては、各投稿論文に対して3名の査読者を決定し、審査を開始いたします。論文集は、2022年度より紙媒体からオンラインジャーナルに変更となりました。掲載が決定した論文・報告は、6月、9月、12月、3月に取りまとめられ、J-stage上にて即時公開されます。

なお、2022年7月以降の投稿は、JSSCウェブサイトからのオンライン投稿を原則とさせていただきます。(オンライン投稿システムは、Scholar One Manuscriptsを使用します)

投稿アドレス：<http://www.jssc.or.jp/thesis/index01.html>

【投稿要領】

1. 投稿方法

- 1) 投稿者の資格：本会会員・非会員を問いません。
 - 2) 著者の人数：人数の合計は原則4名以下と致します。但し、特別の理由があれば超過を認めますので、その場合は理由書を添えて下さい。
 - 3) 投稿方法及び「論文」「ノート」「報告」原稿
 - ・提出（システムアップロード）書類：
 - ①論文原稿
 - ②著者が5名以上の場合の理由書**※原稿ファイルはフォントを埋め込んだPDFとし、サイズは5MB以内でご送付下さい**
 - ・書式：詳細は別紙執筆要領参照
 - ①言語：和文または英文に限ります
 - ②頁数：6～16頁（ノートは2～6頁）
 - ③原稿用紙：通常のA4白紙で結構です。
 - ・投稿の受付：随時となっております。
(論文集の刊行は年4回(3, 6, 9, 12月)です)
※投稿のための各種書類はJSSCウェブサイト(<http://www.jssc.or.jp/thesis/index01.html>)でダウンロードが可能です。
- (注) 投稿方法については、7月以降、JSSCのウェブサイト上で直接、投稿できるオンライン投稿を原則とします。詳細につきましては弊会ウェブサイトをご参照下さい。

2. 投稿対象

投稿の対象は、鋼構造とその複合構造に関する独創的な研究、創意工夫に富んだ開発、設計・施工・維持管理の研究及び事例報告であって、技術的・工学的に価値のあるものと致します。

目的・方法・結果・考察・結論等が明記されたもので、一つの論文(報告)はそれ自身で完結した体裁を整えているものとし、原則として未発表のものに限ります。

ただし、既に発表された論文でも下記については、それを統合再構成したり、新たな知見等を加えたりしたものは応募できるものと致します。

- ①大会学術講演会、学会等支部研究発表会で発表したもの。
- ②国際学会、コトヤマ、シンポジウム等で講演するためにその梗概または講演論文として発表したもの。
- ③大学の紀要、研究機関の研究所報及び会社技報等で発表したもの。
- ④国、自治体、業界、団体等からの委託研究の成果報告書。

3. 論文の審査

論文の掲載に関しては、審査はフルペーパーにより専門家3名に依頼致します。その審査結果に基づいて一般社団法人日本鋼構造協会「鋼構造論文集編集小委員会」が掲載可否を判断致します。

4. 論文掲載の費用

- ①論文登載料：2,600円/1頁(会員)
4,500円/1頁(非会員)

②別刷り印刷：廃止

③カラー印刷：追加費用不要

費用の請求は論文集刊行時に著者あてに請求書を送付致します。費用の請求項目については、投稿時の設問にて記載して下さい。

5. 投稿に関する問い合わせ先

(一社)日本鋼構造協会

東京都中央区日本橋3丁目15-8 アミノ酸会館ビル3階

TEL：03-3516-2151 FAX：03-3516-2152

E-mail：jssc-ronbun@jssc.or.jp

■「ノート」

新しい着想、計算結果、実験結果、あるいは既発表の論文に対する追補等、論文としての形式を整えるのが難しいようなものを投稿して頂くための分類です。ノートも論文と同様査読致します。

■「討議」

本論文集に掲載された論文に対する討議は、鋼構造論文集編集小委員会宛とし、論文集の発刊日から1年以内に限り随時受け付けます。論文に関するご意見・ご質問あるいは関連した研究成果や技術成果等をお寄せ下さい。討議文の様式は自由ですが、頁数は10頁以内とします。

■「報告」

設計・製作・施工の実務に携わる方々からの論文投稿を奨励するために設けられた分類です。鋼構造分野の調査・計画・現場計測等の技術的または事例的な報告で、「2. 投稿対象」に合った内容とします。報告も査読・審査します。

■「委員会報告」

鋼構造に関連した諸委員会の調査・研究活動およびその成果を報告するもので、新たに設けられた分類です。鋼構造分野の研究の体系化および技術の標準化をはかり、今後の課題や展望を示す内容を対象とします。原則として査読は行わず、頁数は6～16頁とします。